

東京工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	TOEIC English I	
科目基礎情報							
科目番号	0128		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	電子工学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	『Fast Pass for the TOEIC L&R Test』（センゲージ・ラーニング）						
担当教員	横溝 仁						
到達目標							
・実践的な演習を通してTOEICスコアの向上を目指す。 ・上記演習を通じて、実社会で英語を運用する際に必要な知識やスキルを身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	授業で扱ったReadingセクションの問題を8割程度正解でき、既習の英文法知識が十分に定着している。		授業で扱ったReadingセクションの問題を7割程度正解でき、既習の英文法知識が定着している。		授業で扱ったReadingセクションの問題を6割程度正解でき、既習の英文法知識がある程度定着している。		授業で扱ったReadingセクションの問題正答率が6割を下回り、既習の英文法知識が定着していない。
評価項目2	授業で扱ったListeningセクションの問題を8割程度正解でき、また初中級レベルの日常英会話において、話者の発言内容を8割程度正確に聞きとることができる。		授業で扱ったListeningセクションの問題を8割程度正解でき、また初中級レベルの日常英会話において、話者の発言内容を7割程度正確に聞きとることができる。		授業で扱ったListeningセクションの問題を6割程度正解でき、また初中級レベルの日常英会話において、話者の発言内容を6割程度正確に聞きとることができる。		授業で扱ったListeningセクションの問題正答率が6割を下回り、既習の英文法知識が定着していない。また初中級レベルの日常英会話において、話者の発言内容の6割程度を聞き取ることができない。
評価項目3	定期テスト、小テスト、課題等の合計点が80点以上である。		定期テスト、小テスト、課題等の合計点が70点以上である。		定期テスト、小テスト、課題等の合計点が60点以上である。		定期テスト、小テスト、課題等の合計点が60点未満である。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	・実践的な演習を通じてTOEIC の試験形式に慣れ、スコアアップにつなげる。 ・スコアアップを実現するのみならず、全般的な英語力のレベルアップも図る。						
授業の進め方・方法	・指定テキストを中心に演習を行う。隔週で模擬テストを実施し、本番の時間感覚を身につける。 ・小テストを実施し、語彙力の強化および理解度確認を行う。						
注意点	・12月にTOEIC IPを全員受験する。 ・受講者の学習到達度に合わせ、適宜学習内容や進度を変更することがある。 ・その他の注意点は初回授業等で周知する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction: 講義概要の説明 Pre-test				
		2週	Unit 1-1 "Food & Restaurant" Textbook p.24-28			瞬時に適切な描写文を予想できる。問題のタイプを見分けることができる。	
		3週	Unit 1-2 "Food & Restaurant" Textbook p.29-33			瞬時に適切な描写文を予想できる。問題のタイプを見分けることができる。	
		4週	Unit 2-1 "Entertainment" Textbook p. 34-38			質問文の最初の語をとらえることができる。文の構造をしっかりと把握することができる。	
		5週	Unit 2-2 "Entertainment" Textbook p. 39-43			質問文の最初の語をとらえることができる。文の構造をしっかりと把握することができる。	
		6週	Unit 3-1 "Travel" Textbook p. 44-48			3人の会話と話し手の意図をとらえることできる。スマホやパソコンでの英会話を理解できる。	
		7週	Unit 3-2 "Travel" Textbook p. 49-53			3人の会話と話し手の意図をとらえることできる。スマホやパソコンでの英会話を理解できる。	
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	Unit 4-1 "Sports & Health" Textbook p. 54-58			ざっくりばらんな表現や音の脱落に注意して英語を聞き取ることができる。語と語の意味の結びつきに注目して英文を理解できる。	
		10週	Unit 4-2 "Sports & Health" Textbook p. 59-63			ざっくりばらんな表現や音の脱落に注意して英語を聞き取ることができる。語と語の意味の結びつきに注目して英文を理解できる。	
		11週	Unit 5-1 "Purchasing" Textbook p. 64-68			被写体の配置をすばやくとらえることができる。主語と述語動詞をしっかりと把握することができる。	
		12週	Unit 5-2 "Purchasing" Textbook p. 69-73			被写体の配置をすばやくとらえることができる。主語と述語動詞をしっかりと把握することができる。	
		13週	Unit 6-1 "Housing & Accomodations" Textbook p. 74-78			Yes/No疑問文の内容を正確に聞き取ることができる。5 W1Hに注目して英文を聞き取ることができる。	
		14週	Unit 6-2 "Housing & Accomodations" Textbook p. 79-83			Yes/No疑問文の内容を正確に聞き取ることができる。5 W1Hに注目して英文を聞き取ることができる。	
		15週	総復習				
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
評価割合						
		試験	小テスト	課題	合計	
総合評価割合		60	20	20	100	
基礎的能力		60	20	20	100	
専門的能力		0	0	0	0	